



なか がわ たみ ひで  
**中川民英**

にほんきょうさんとうつしぎだん  
**日本共産党津市議団**

### 小中学校の少人数学級を実現せよ

**問** 学校を取り巻く環境がこれまでとは違い大変複雑化、また困難化している。教員に求められる役割も拡大する中、教員が授業など子どもへの指導に専念できる環境をつくるということが必要である。25人下限設定を外し30人学級の拡充を求める。また、教員の長時間労働の改善が必要。人材確保の面からも臨時・非常勤講師の正規化が必要であり、定員増が急務である。

**答** 津市では、生きる力育成サポーターの配置、市費の臨時講師を活用しての教科単位での少人数教育など、状況や必要に応じたよりきめ細かい指導ができるよう工夫している。また、三重県の少人数教育推進事業に加えて、津市独自の少人数学級を進め、生徒一人一人に目が届く環境をつくるよう努力している。引き続き県政要望などの機会を捉え、25人の下限条件の撤廃等少人数学級の実現に向けて、三重県へ要望していく。

また、教職員の多忙化については重大な問題であると認識しており、平成24年度には市費の臨時講師の勤務条件の見直しを行い待遇改善を図った。引き続き、職員配置の適正なあり方などを総合的に考え、教職員の長時間労働の縮減等に努めていく。

### ●その他の質疑・質問●

○障がい者、高齢者、乳幼児等、要支援者の避難について

- わかりやすい災害時要援護者マップの作成を
- 岩田川堤防の護岸整備に関して、津波に対応できるよう早急に計画を進めるよう要望せよ
- 国民を監視下に置き、情報流出の危険性が高い、マイナンバー制度導入事務事業はやめよなど



▲小学校の授業風景。30人以上だと、手狭な状態



こ ばやし たか とら  
**小林貴虎**

しみんくらぶ  
**市民クラブ**

### 市の予算と責任で海岸美化を

**問** 津の海岸は市にとってかけがえのない共有財産であるとしながら、その清掃はボランティアに委ねられ、市は予算をかけて清掃を行っていない。結果、大きな流木など人力に余る物は放置されたままである。ビーチクリーナーなどを購入し、市民が誇りに感じる事ができる美しい海岸を、行政区分の枠組みを超え市が行うべきである。

**答** 市民に親しまれている美しい海は、本市にとって共有の財産であり、市民の憩いの場所でもある。きれいに保つことは非常に重要なことであるが、不法投棄されたごみや海岸漂着物の回収処分については、基本的には管理者である三重県が、きちっと管理するべきであると考えている。ただし、市民がボランティア活動による清掃活動等を行っていただいた場合は、ごみの回収処分というかたちで協力しており、今後も継続して行っていく。

また、三重県海岸漂着物対策事業補助金に関する情報収集を行い、ビーチクリーナーなどの機材の購入あるいはレンタルなどについても検討し、できることは取り組んでいきたいと考えている。

### ●その他の質疑・質問●

○小中学校のエアコン設置は、大人よりも代謝の低い子どもの冷房病への対策を充分考慮して行うべき

○聞こえない防災無線の問題は、伝えるべき情報が伝わらないこと。日本郵政が高齢者向けiPad事業で行政の情報発信サービスを付加して提供を始める。新技術を利用し、より有効な伝達方法を模索すべき など



▲市内の海岸に打ち上げられた流木